

## 平成30年度第1回青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇談会会議録(概要版)

- 1 日時 平成30年8月8日(水) 午前10時～午前11時35分
- 2 場所 青梅市役所 205会議室
- 3 出席委員  
森田委員、加藤委員、小澤委員、田谷委員、徳武委員
- 4 議事  
協議事項  
(1) 青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略における主要事業の進捗状況について  
(2) その他

(配布資料)

- ・青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇談会委員名簿
- ・資料1 重要業績評価指標(KPI)の進捗状況
- ・資料2 主な総合戦略事業の状況
- ・東青梅1丁目地内諸事業用地利活用構想概要版
- ・平成29年度第2回青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇談会議事録概要版

発言者	会議のてん末・概要
会長	<p>(開会)</p> <p>平成30年度の第1回目の懇談会を開催させていただく。</p> <p>今日は台風13号の影響で、雨や風が強く、足元の悪いなかの御出席に感謝する。</p> <p>7月23日の話だが、青梅市の最高気温が40.8度、東京でナンバーワンということで、大変暑いという青梅だった。今まで青梅といえば山や川があり、比較的都心部に比べると涼しいが、青梅は暑い都市というふうに認知された感じがする。</p> <p>総合戦略においては地域の特色や地域資源を生かした施策を幅広く実施することが重要であると思うが、暑さを特色とするかどうかは別として、新たな特色を発見したり、開発したりしていくことも地方創生には必要なことと思っている。</p> <p>改めての確認となるが、当懇談会は、平成27年12月に策定した「青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進に関するところを所管している。</p> <p>この総合戦略に関して、市の取組状況をお聞きし、それぞれが得意とする領域、分野の中から、または、日頃、生活していく中で気づいた点や他の好事例などもお話しいただき、青梅市がより良い形で進んでいけるよう話し合っていきたいと思うのでよろしく願いたい。</p> <p>それでは、次第に従い進めさせていただく。</p>
	<p>2 協議事項</p>
	<p>(1) 青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略における主要事業の進捗状況について</p>
会長	<p>まずは本日の進め方について、事務局から説明する。</p>
事務局	<p>(進め方について説明)</p>
会長	<p>これから事務局の方から重要業績評価指標および総合戦略に掲げている事業の中から、主な取組をピックアップして基本目標ごとにまとめた資料を用いて説明がある。</p> <p>分野が多岐にわたっているため、基本目標ごとに区切り、事務局から説明をしてもらい、その後各委員からの意見や質問などを伺っていききたい。</p> <p>それでは基本目標1について事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>(基本目標1について資料1および資料2-1を用いて説明)</p>

会長	基本目標1について事務局から説明があった。それでは、資料1および資料2-1についてご発言をお願いしたい。
委員	<p>学童保育所の待機児童数が大幅に減っていることは大変良いことと思う。</p> <p>学童保育の保育対象に、障がいのある子も受入れるよう、対象を拡大したと聞いた。これもとても良いこと。</p> <p>いろいろな母親が社会参画するきっかけになるので、このような取り組みを続けてもらいたい。</p>
会長	このKPI指標の、目標ゼロの部分は大変厳しい目標に感じる。青梅市は広く、受け入れ施設の近くに待機児童がいればすぐに受け入れられるだろうが、散らばっていると中々難しい。こういう地域性を考えると、ゼロ人は難しいという気がする。
委員	学童保育所の待機児童数について、いくつか施設がある中で、地域間のバランスが取れていないという課題があると思うが、この89人というのも住宅密集地のところに集中しているという理解でよろしいか。
子ども家庭部長	青梅市は広く、施設が点在している。東部地区の方が待機児童数が多い状況になっている。
委員	何か大きな施策を行わないと、解決できないと感じるがどうか。
子ども家庭部長	既存の学校施設の中で、活用できる場所があれば、教室数を増やすなどの対策を少しずつだが進めているところである。
委員	生涯学習講座と教室受講者数を見ると基準値よりも足りない状況があるが、講座数は年々増やしているか。
部長	現在、新生涯学習施設を市民会館の跡地に建設しており、市民会館が使えなかったということもある。講座の数としては変わりはない。
委員	目標1の資料2-1にて、出産子育て情報提供事業についてはソフト面の支援になると思われるが、子育て支援事業についてはハード面の取組みに見方としてとれる。ソフト面では、パソコン、スマートフォン、携帯を持っていない方もいると思われるが、そういう方への情報提供はどのようにしていくのか。また、子育て支援事業については、対面での支援になると思われるが、育児に対しての不安を持つ人たちが集まれるような場所はあるか。

子ども家庭部長	<p>子育て支援事業について、パソコン、スマートフォン等を持っていない方に向けては、広報や催しの際に配布するチラシなどで周知を図っている。</p> <p>子育て広場を開催しているが、子どもを連れて遊びに来る中で、専門の保育士が相談を受けている。</p>
委員	<p>妊婦の健康診断の未受診者には積極的に連絡し、来ないときには自宅まで行くと聞いている。とても大変だが、それくらい引き出してあげないと、出てこない妊婦もいる。こういう試みをアウトリーチというが、これをやってもらえると手厚いネウボラ事業の最初の一步になる。かなり大変だが続けていただきたい。</p> <p>お父さんを巻き込むということで、プレパパ、プレマクラスをやっていると伺っている。土曜日の開催で大変と思うが、是非続けていただきたい。</p>
会長	<p>学力向上事業の中で、部活や習い事と重なり休んでしまうと効果が出づらい傾向があり、サタデークラスでも休まず利用してもらうことが課題とある。継続していると学力が上がるが、休んでしまうとやはりつながらず、理解の程度が落ちてしまうということと思う。学力向上はした方がいいが、部活や習い事も必要だからやっている。趣味や健康面として部活や習い事も必要。そうなると、ずっと出席し続けることが難しくなってくる。このように休んだ時には資料を配ったりしているか。</p>
教育部長	<p>平成30年度はサタデークラスとして行っているが、その他に放課後学習を行っており、学校で部活に行くまでの時間などでの取り組みを行っている。</p> <p>休んだ後に、前回の学習内容についても、指導をしている。</p>
委員	<p>無償で行っている事業だと難しい。無料だと休んでもいいということになりがち。</p> <p>ある程度登録したら休まないということをとりにつけるといい。他に来たい生徒もいるはず。</p> <p>人数枠がある中で、月に1回か2回しかないので、ある程度責任を持って受講してもらうことが必要かもしれない。</p>
委員	<p>中学生になると部活との両立が出てくる。</p> <p>部活動との両立ができるようなカリキュラムをつくるような形でやると、いい方向性になるのではないか。</p>
委員	<p>昨今、子どもの虐待とか、食料を与えないということで、子どもが亡くなってしまう事件も起きている。青梅市の、いじめや虐待の数字について、概略でもいいので教えてほしい。また、その対応をどのようにしているのか。</p>

子ども家庭部長	<p>通告があった場合、子ども家庭支援センターの職員が訪問して、調査をする。平成29年度は80件近い通告があった。その中で60件程度が、虐待が疑われるようなケースで、子育て支援ワーカーが指導をしている。</p> <p>ケースによって、児童相談所、保健所、警察等と連携をとり、対応をしている。</p> <p>子ども家庭支援センターは、課長がセンター長となっており、保健師を係長に置き、その係に資格を持つ子育て支援ワーカーを配置している。</p>
委員	<p>アラームが上がらず、水面下でというケースもあると思う。注視していただきたい。</p>
委員	<p>学力向上事業について、こういうものはいろんなデータがあり、いろんな研究がされていて、その一部を読んで話をするが、小4から中3とあるが、実はそれからやるともう遅く、その年代になると勉強しろ勉強しろと言うしかなく、そうするとますますしなくなる。どうすればいいかという、小さいうち、学力なんて言葉が発せられない段階で何かやらせて、できたらほめるということをやり続け、ほめられると気持ちがいいということ、理解させていくのをいかに早い段階でやるかということ。</p> <p>学力向上事業としてサタデースクールとか効果はあると思うが、学童保育事業でそういうことをやると、効果が顕著なのではないか。</p> <p>前にも申し上げたが、長子が勉強ができる次の子も勉強ができる。なぜかという、お母さんが勉強のさせ方を知っているから。</p> <p>学校に入る前に、お母さんがそういうことをしていると、子どもは学校に行っても勉強ができる。</p> <p>これは、学校の問題ではなく、家庭の問題という本を読んだので、話をさせてもらった。</p>
委員	<p>学生で学童保育にアルバイトに行っている者が何人かいる。行先によっては勉強時間を作って、宿題をさせる他に、土曜日の午後などに総合学習をさせたりするなどの取り組みをしている学童保育所もある。やり方次第という気がする。</p>
会長	<p>それでは基本目標2について事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>(基本目標2について資料1および資料2-2を用いて説明)</p>
会長	<p>基本目標2について事務局から説明があった。それでは、資料1および資料2-2についてご発言をお願いしたい。</p>
委員	<p>成木の皆さんは歓迎している。住んでいる人の利便は図れている。</p> <p>既存のお店がほとんどないからできるが、多少なりともあると営業妨害にもなり</p>

	<p>かねないので難しい。</p>
委員	<p>先ほどのサタデースクールも塾の営業妨害になるといけないし、難しい。</p>
会長	<p>商工業の振興という面で、青梅は地域的に、すごくいい所に思える。東芝の跡地は進んでいるが、もうちょっと注目されてもいいのでは。</p>
委員	<p>誘致というと大きい企業に目が行きがちで、効果は絶大なものがある。 青梅市は今、ちょっとした創業支援ブームといってもいい。小さな単位だが、新しい施設、新しい事業所ができています。 商工会議所としてはそのような人たちの後押しをどうしていくかを考えているが、実際には中々難しい部分があり、せっかく創業して頑張っている人を、商工会議所だけでなく、市からも何か支援があればいいと思っている。</p>
会長	<p>駅前に創業支援センターがあるが、スタートアップの際に先輩方を見たり、常駐している係の人の話を聞いたりして、起業するところまでは行くが、その後をフォローしてあげないと、まだ力が弱いので、そこのところを大事と感じる。</p>
委員	<p>新規事業を開始すると、商工会議所に入会をお願いをする。登録されると、商工会議所の広報に載せていくとか、発表の場をつくって話をしてもらおうとかできるが、そもそも商工会議所に入ってもらえないと、できない部分もある。 実際にはパーマ屋やカフェができたり、民泊やビール屋、家具屋もできたりとか、小さい単位であるが旧市街地にできている。</p>
委員	<p>梅の里再生事業が進んできているとのことで、外部からの集客を得るために大きな事業と思うが、梅の花が開いて人を呼び込めるようになるのはいつごろになったら大々的にPRできるのか。</p>
経済スポーツ部長	<p>平成28年度から再植栽が可能になり、植え始めている。梅は元々1,700本程度あったのに対して、今は940本程度植えている。 元々、日本での梅のランキング1位になった時に、梅の里ということで、梅の公園だけではなく、周辺の畑とかも含めた形で吉野梅郷の景観というかたちになっている。農家も畑に植えているが、農家の方々には2年生から3年生の苗木を植えてもらっている。梅の公園や、中道梅園の近くの公園については、できるだけ成木を見つけてきて、苗木とともに100本単位で植えている。15年生から20年生程度のものである。 以前のような一面梅の花で覆われているようになるには、5年、10年という歳月が必要となると思われる。</p>

委員	<p>ここでゼロの状態から始めていることを、地元の方々や、観光で来られている方々が一緒に育てていく姿を見ていただくことも、観光の一つと捉えて、リピーターとして来ていただきたいということも含め宣伝をしている。</p> <p>空き家の活用事例があるが、これは空き家を登録しておき、そこに新たに1件の方が住まわれたということでしょうか。</p>
子ども家庭部長	<p>空き家を貸したい人が青梅市に登録していただき、住宅施策推進協議会にて貸せる物件か調べてもらい、OKであれば青梅市のホームページにも載せている。それを見て借りたい方から、青梅市に連絡が来たら市が仲介をしている。</p>
委員	<p>できれば市外から来てもらいたい。もう少し力を入れるといいかもしれないが、空き家を提供してくれる方がいるかということもある。</p>
子ども家庭部長	<p>空き家はかなりある。空き家の調査をした中で、所有者に制度の紹介をし、応募のお願いしたが、親の持っていた家を手放したくないという意識がある中で、貸すと取られてしまうのではないかと不安感もあり、中々難しい状況もある。</p>
経済スポーツ部長	<p>空き家に関連して、空き店舗の活用についても話をしている。</p> <p>東青梅駅前の創業支援センターでの相談に始まり、まちづくり青梅という中心市街地活性化の関係でやっている会社の運営によるアキテンプ不動産などを活用しながら、開店するときに改装費等の2分の1を補助している。課題があれば創業支援センターに戻ってきてもらい、先輩方と意見交換ができるという事業を実施している。市内でも空き店舗を活用した店が増えてきている。</p>
委員	<p>所沢市では、ワンストップ空き家活用といい、煩雑な事務手続きを一つのところでやってくれるということをやりにしている。どれくらいの効果があるかわからないが、そういうキャッチフレーズ的なものがあると、利用しようという気になるかもしれない。</p>
会長	<p>今までとは別の方が空き店舗を利用していないと、にぎわいを取り戻すには難しい。成果は出ているが、さらにペースアップするにはどうしていけばよいかというところ。</p>
委員	<p>新たに住んでもらうのは難しい。青梅市の認知度は95.10パーセントとあるが、もっと高いという印象。青梅マラソンは全国的な認知度があり、たくさんのお客さんやランナーが来る。そういった人たちが、1泊でも2泊でも青梅市に居てもらってお金を使っていくてくれると、青梅市も活性化するのではないかと。宿泊をするのはこ</p>

<p>会長</p>	<p>の界限では難しいのか。ランナーはすぐに帰る人が多いのかもしれない。この辺をPRしていくのはすぐにできそうな気がする。</p> <p>PRについて青梅市にお願いしたいのは、市外に向かって青梅で起業したらこういう良いことがあった、起業に関心がある人は青梅がいいですよ、というようなことを外へ発信するといいたいと思う。</p> <p>商工会議所の会報などにより青梅市内の認知度は上がっているが、今後は外へも向けないと。</p>
<p>委員</p>	<p>商工会議所でSNSを始めて、発表会の様子などをアップするのもいいかもしれない。</p>
<p>委員</p>	<p>青梅ブルーサポーターのような方たちに、一役を担ってもらうなど、いろんな手法がある。</p>
<p>委員</p>	<p>青梅市への観光客は増えているか。</p>
<p>会長</p>	<p>宿泊施設が限られているので、宿泊で青梅市に来られる方は限られていると思う。そうでなくて、映画看板などで来られる方は増えているのではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>来年はワールドカップラグビーがあって、全国に競技場は散らばっている。再来年のオリンピック・パラリンピックもあり、全世界から東京に人が集まる。これはチャンスなので、その時に受け入れ体制が整っておらず、チャンスを逃すのはもったいない。</p>
<p>会長</p>	<p>それに関係して、民泊みたいなものについて旅行会社に聞いたが、立川くらいまでは、外国人客がそういうもののために押さえている。宿泊施設は結構あるそうだ。</p> <p>宿泊施設も、そういうものが続けば投資も考えられるかもしれないが、オリンピック関連が過ぎた後のことを考えると、既存の施設を改装してやればできるのかもしれない。大きいホテルとかではなく、青梅らしさを出すといいのではないか。</p> <p>御岳山なんかは体験型宿泊ということになると、外国の方は珍しがる。御岳山を含めて、山を下りた周辺で泊まってオリンピックへ行ってもらう。オリンピックを見に来てさっと帰る人はいないので、その時に今までいわれていたスカイツリーとかではなく、武蔵御嶽神社も面白そうだと思うってくれる人もいるかもしれない。</p> <p>そうやって宿泊と何かをくっつけるといい。</p>
<p>委員</p>	<p>青梅市の認知度についてですが、青梅市が一番暑いまちという認知がされて、</p>



	<p>百葉箱を置いてある場所が悪いのではないかという話もあるが、避暑地として外部に訴えたいという観光的な意識はある。</p> <p>東京一暑いのが、暑いまちでいこうという人もいるが、東京の避暑地として青梅は今まで認識されてきたので、これはマイナス情報だろうと。1回だけで声高に言う必要はないし、毎年毎年東京一暑いのがでてしまうと、その気になるようかもしれないが、やはり青梅は涼しい地域ということを訴えたいというのがあるが、今の百葉箱の場所で今後もデータが取られていくのか。</p>
委員	青梅市は畜産試験場に設置していると伺っている。
委員	フェーン現象が起きやすい場所なのではないか。
委員	<p>話が少し違うが、市役所の1階に婚姻届を出された方が写真を撮る場所がある。市によってはすごく華やかにして、庭園をバックに写真を撮ってもらう。婚姻届を出すのはどこの役所でもいい。あそこの役所に婚姻届を出すとインスタ映えする写真が撮れるということで、日本一ホットな場所でなんていうやり方もあるかなと思う。</p> <p>若い人は婚姻届を出すと、すぐにインスタグラムに出したりする。そういうところからも始められるかもしれない。</p>
会長	インスタグラムのようなものは、ひとつ当たると拡散する。若い人に意見を出してもらうといい。
委員	娘はわざわざインスタ映えするということで文京区まで行って婚姻届を出して写真を撮ってきた。庭園になっていて24時間写真を撮れる。
会長	若い人をターゲットにした方がいい。その方が情報が拡散する。
会長	それでは基本目標3について事務局から説明をお願いしたい。
事務局	(基本目標3について資料1および資料2-3を用いて説明)
会長	基本目標3について事務局から説明があった。それでは、資料1および資料2-3についてご発言をお願いしたい。
委員	自治会について、防災のこととかも考えるととても大事なことと思うが、どこの地域も入っている人が高齢化となり、支える人がいなくなり若い人も入らない。若い人を取り込むのが重要。各世帯が一人とか二人とか核家族化がさらに深刻になって

市民安全部長	<p>いる。また個人情報のことがあり、自治会員名簿が流出したら困るとか、いろんな問題があると思う。どうやってこれを食い止めるか、提言が難しいが、若い人の取り込みなど工夫している点についてはどうか。</p> <p>自治会員数の低下については市の方からも自治会への様々な支援を行っている。しかし中々特効薬がなく、時間がかかることと認識している。</p> <p>若者をどうやって取り込むかについては、自治会にて工夫していて、地域でのイベントを行うとか、幅広い世代を取り込むような活動を各支会で行っている。</p>
会長	<p>まずはそういうことだろうと思うのは、イベントをしてターゲットを子どもたちに合わせ親にも来てもらい、自治会の活動は楽しいなど感じてもらい次につなげる。自治会の活動も知らないでしょうし、何が大事かがわからないでしょうから身をもって体験してもらう方がいいのでは。</p>
委員	<p>まずは認知してもらうことが大事。</p>
会長	<p>自治会は年配の方がやっているという風に見られてしまう。そうではないということを知ってもらわないと。</p>
委員	<p>会合には出にくい感じがある。</p>
会長	<p>仕組みを見直して、今風の自治会にしないと参加してくれない。</p> <p>若い世代は子どもが一人か二人。そこを引っ張ってこれないと次につながらない。</p>
会長	<p>公共施設再編・再配置事業について資料に載っているが、老朽化が原因のものが多いのか。</p>
企画政策課長	<p>青梅市公共施設等総合管理計画を平成29年3月に策定した。その際に公共施設の状況を把握した中で、建築から30年以上経っているものと30年未満のものを調べたが、築30年以上経っている施設が7割以上となっていて、老朽化がかなり進んでいると認識している。そういった中で、改修・修繕費用を試算したが、今後40年間で1700億円を超える金額がかかり、年平均44億円ということで、予算が捻出できないため、経費を少しでも縮減すべく再配置や統合等を進めている。</p>
会長	<p>スクラップアンドビルドで、二つある施設が老朽化したので廃止して、より必要性のある違う場所に移すということも含まれるのか。</p>

<p>企画政策課長</p>	<p>機能を維持しつつ、統廃合を行い、延床面積を減らしていくことを考えている。 今は先行モデルとして、市民会館の跡地に、仮称として新生涯学習施設を建てている。この施設は、旧の市民会館に加えて、釜の淵市民館、青梅市民センター、永山ふれあいセンターを移転するかたちで、延床面積を減らしていく。 東青梅1丁目地内諸事業用地等の計画も、同じ考え方をもち、地域の公共施設の再編の視点を持ち、対応をしている。</p>
<p>会長</p>	<p>課題として施設利用者への理解を求めるとあるが、老朽化の観点からも続けることのリスクもあるので、利用者の方へ広報等してもらい、理解をしてもらい、統廃合した新しい施設を使ってもらおうことで、やむを得ないのではないかと。</p>
<p>委員</p>	<p>聞いた話だと、市政制定が早かった市は、施設の老朽化が早いということで、どこも同じような課題がある。青梅市の指標をみると、青梅市一人あたりの公共事業費が全国814市の内、高い方から6番目になっている。財政事情で大変な中、効率よく費用をかけないでやっていると思うが、すごい費用になっている。財政の面が心配になるが、せつかく税金をかけるのであれば効率よく、また生涯学習という意味では誰でも行きやすい場を検討して欲しい。羽村市ではゆとろぎという、小さい子から大人までが集まって学習できる場があるので、そういうことも加味してもらいたい。</p> <p>以前、青梅市民会館を利用した時に、張り紙があつて「この建物は震度5以上になると倒壊の恐れがあります」と書かれていた。それでも使わなければいけないというぎりぎりのところでやっていたと思う。そのような施設がまだあると思う。</p> <p>青梅市役所がとてもきれいなので新しくできる施設を期待してしまうが、お金のかかることなので、この施設で良かったと思えるものにしてほしい。</p>
<p>会長</p>	<p>過去に作った公共施設は、当然必要だから作ったと思うが、今はそれほど重要度が低下しているのであれば、効率化というかコストがかからない事業に変えていかないと、いずれ大変なことになる。</p> <p>古い建物は維持費に費用がかかる。</p>
<p>委員</p>	<p>将来を見据えて、若者だけが集まるのではなく、子どもや若者や年配の方も使えるような、将来を見据えた施設づくりとして、防災のことも考えなければならぬと思うので、何かあれば転用できるような、そういった観点で考えてもらおうと思う。</p> <p>さっきの暑さではないが、災害は想定できないところから突然来るので、そういうことも十分踏まえてもらおうと、市民のためにもなるのではないかと。</p>

会長	<p>全体を通じて何かご意見などあれば発言をお願いしたい。 無いようでしたら、(2)のその他について何かあればお願いしたい。</p>
事務局	<p>議事録概要を事務局で作成し、後日委員へ送るので、内容の確認をお願いしたい。</p>
会長	<p>以上で本日の議事はすべて終了した。 以上をもって、平成30年度第1回青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇談会を終了とする。</p> <p>(閉会)</p>